

ソフトランディングへむけての目標

蒲池 世史郎

(松江市 蒲池歯科医院)

深井保健科学研究所コロキウム2004へのお誘い有難うございました。

17次のネパールでのプロジェクトも、おおむね計画にそった目標を達成できプロジェクト担当の副隊長としての任、御苦労さまでした。そして本当にお世話になりました。

目標と云いますと、ヘルスサイエンス・ヘルスケアVol.2に中村先生が記されている「国際歯科保健の現場：目標に基づくプロジェクトの展開」を読みながら思ったことがあります。

ひとつのことを起こし、それを継続させるには、目標設定が必要である。

1. 理想、希望を規範とした最高概念、遠い目標、理念
2. すこし先に有る目標、努力次第で実現可能
3. 実現可能で手の届く目標

1の目標とは、個々人の中に有る志というか夢とも言えるものだろうと思います。その向かう方向が平行線よりやや内向きであれば、遙か彼方の目標にはいつか到達できるだろうとの思いがあり、ネパールにおける活動も同志の組織として15年と云う継続した活動につながっているのでしょう。

ネパールから帰って間もなくでした。NHKテレビのプロジェクトXで、第1回の南極越冬隊の物語を取り上げていました。先生ともお話したことがあるかも知れません。「石橋を叩けば渡れない」の著者で越冬隊長の西堀栄三郎氏が述べておられる、「まあ、やってみなはれ、目標はその後

でついてくる」、研究者としては素人の隊員達に、まず行動を起こすことから事は始まるということ、実感させる話でした。もう一つ、これも今年のNHK大河ドラマ、新撰組の話です。司馬遼太郎氏の「燃えよ剣」のなかで、幕藩体制の崩壊にあたって、沖田総司の問いかけに土方歳三 がこたえる「どうなるとは、漢の思案でない。おとこはどうするという事以外に思案はないぞ」と、この言葉もまた志と行動を物語っているのでしょう。確かな遠い目標を持てば、DoすることによってSee, Plan、が起こり次ぎのDoへとつながるのという。

わたしたちのネパールの活動もこのようなサイクルで15年にわたる活動を続けていますが、ここ数年がプロジェクトのランディングのとき、第2の目標を明確に描かねばならない時ですね。

でも、私の肉体的経験からしますと先に目標を設定し、それに向かって日々努力することは修行となり、どうもそれに耐えられる精神を持ち合わせていないようです。最初に私達が活動を始めた村のヘルスワーカーが私達の教え子（弟子）とすれば、今回現れた隣村のキーマンは孫弟子ということになります。なんとかここまでは見れそうです。まだ、孫を持たない私ですが孫の可愛さは持ってみなければ判らんと云います。ひ孫弟子までみられるといいのですが。そのためには明確な目標の設定とそれに向かっての路線が描ける貴重な深井先生のプロジェクト担当リーダーとしての手腕に期待しています。